

『限りない未来への挑戦』を目指して、学校づくりに取り組みます。

『進取創造』『至誠貢献』

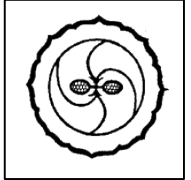


宮城県仙台二華中学校・高等学校

Miyagi Prefectural Sendai Nika Junior and Senior High School

本校の校章は、二つの松の実を中心に置き、二枚の松の葉を図案化してこれをかこみ、外側に鏡をかたどったものです。

松の実はいくつもの学習教養の結実を意味し、松の葉は霜雪にも変わらぬ常磐の緑から節操を表わし、鏡は人間としてのあるべき姿を示す鑑を象徴しています。



仙台二華中学校・高等学校
校長 佐藤弘人(令和4年4月1日～)
趣味 星をみること



仙台二華中学校
中学PTA会長 伊藤大介(令和4年4月1日～)
恥ずかしいので似顔絵で。



▲令和元年度の通学路巡回

▼10/21校内研修会の様子



文化祭は9月3日から4日にかけて開催されました。感染対策を講じた上で、①2日間開催、②保護者への公開、③体育館でのステージ発表復活、④模擬店の復活、⑤中夕祭の復活と、昨年度よりもコロナ前に一歩も二歩も近づいた、生徒の笑顔あふれる文化祭を開催することができました。

そのほか、4月21日の春季体育大会、6月28日の校内合唱コンクールについても、十分な感染防止対策を行ったうえで、事前申し込みにより保護者へ公開し、久しぶりに生徒・教職員・保護者が一体となったイベントとして開催しました。

コロナ禍でのPTA活動については、感染防止対策を行いつつ、対面での活動を心がけています。令和4年4月のPTA総会は3年ぶりに対面での実施ができました。10月21日には「未来を育てる 研究と教育と子育てと」をテーマに、保護者・教職員向けの講演会を開催しました(講師:東北大学多元研教授 埜上洋氏(本校PTA会長))。

11月18日には学校周辺の安全確認のため、連坊小路商店街の皆様のご協力をいただきながら、通学路の巡回を実施する予定です。普段生徒がお世話になっている地元の方々にお話を伺い、地域の歴史や地理を知る貴重な機会となっています。



▲文化祭。今年から愛称「百華祭」



▲いづれ劣らぬハーモニー



▲優勝旗ならぬ優勝こけし